

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	必修
担当教員			
浦崎安規、藤野正和、諸石真澄			

講義概要	現代社会の要請から、保育者に求められる役割や期待が多様化しています。保育者は、「今」目の前の子ども の理解だけでなく、一般的な子どもの発達や少し先の見通しをもって支援していく必要があります。本講義 では、人の発達についての知識について理解していく発達心理学と、人が学習や教育を通して成長する教育心 理学の要素を取り入れ、人間の生涯発達の根幹となる初期経験の重要性とそれを支援することの重要性につい ての知識を習得します。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 発達心理学の視点 学習課題 復習：シラバスを読み、目標を確認する。教科書に目を通す。 予習：自分の現在の特徴（身体の発達・食べ物の好み・性格など）は何によって規定 されたかを考える</p> <p>第2回 子どもの発達と環境 学習課題 復習：教科書13～23ページ、発達を規定する要因について 予習：自分の食の好みについて、好きなもの、嫌いなものを整理し、幼少期との関連 をみる</p> <p>第3回 赤ちゃんの誕生 学習課題 復習：教科書25～36ページ、赤ちゃんの能力 予習：施設実習での愛着に関する振り返り</p> <p>第4回 愛着関係の発達（1） 学習課題 復習：教科書37～46ページ、愛着に対する援助のポイント 予習：あなたの第一次反抗期について、家族や周囲からの情報を整理する</p> <p>第5回 愛着関係の発達（2）視聴覚資料 愛着関係の剥奪の影響（達成度テスト①） 学習課題 復習：配布資料の熟読 予習：愛着関係の剥奪の例について施設実習経験を振り返る</p> <p>第6回 自己と情動の発達（1） 学習課題 復習：教科書51～63ページ、情動調節の発達 予習：家族や周囲の人から初めて話した言葉について調査する</p> <p>第7回 言葉の発達とコミュニケーション 学習課題 復習：教科書66～75ページ、二語文、多語文、言葉の発達過程で生じる問題 予習：あなたはいつ、どのように人を叩いてはいけないと学習したか記述する</p> <p>第8回 知的発達—その意味と保育者の関わり— 学習課題 復習：教科書78～89ページ、学習理論 予習：幼少期に好きだった遊びについて、家族や周囲に聞き、記述する。</p> <p>第9回 遊びと仲間づくりを支える社会性 学習課題 復習：教科書91～107、子どもの遊びと保育者とのかかわり 予習：発達検査、知能検査について用語を調べる</p> <p>第10回 子どもの発達と臨床的問題（達成度テスト②） 学習課題 復習：教科書108～122、発達障害、児童虐待、保育現場での対応 予習：あなたの思春期のエピソードを記述する。何が好きで、何が嫌だったのか。</p> <p>第11回 思春期の心性 ・思春期の心と身体（身体的発達と心） ・思春期の人間関係（親子関係、心理的離乳・友人関係） ・思春期に見られる危機（不登校・いじめ・摂食障害・自傷・性問題） 学習課題 復習：教科書126～139 予習：自我同一性という用語について調べる。家族や周囲に「大人になったと感じた とき」について聞き、記述する。</p> <p>第12回 大人になるということ—自我同一性の獲得— ・エリクソンの自我同一性 ・現代における新たな自我同一性に関する問題 （フリーター、ニート、ひきこもり、ライフサイクルの多様性など） 学習課題 復習：教科書140～152ページ 予習：</p> <p>第13回 子育てと生涯発達 ・子どもを育てるということ ・現代の家族・子育てを取り巻く現状 ・親になるプロセス 学習課題 復習：教科書153～165 予習：配布資料を熟読</p> <p>第14回 老いることと生涯発達 ・進む高齢化 ・QOLの意味 ・人生の終焉の受容 学習課題 復習：教科書166～180 予習：配布資料を熟読</p> <p>第15回 キャリア発達とその支援（達成度テスト③） ・キャリア発達の諸理論</p>

	<p>・バーンアウト（燃え尽き症候群） 学習課題 復習：これまでの配布資料を熟読</p>
授業形態	<p>毎回指定のテキストを使用し、配布資料を活用しながら進める。発達に関する用語を具体的事象との関連から理解していくため、学生の経験を踏まえた発表を積極的に取り入れる。</p>
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 子どもの発達・発達のプロセス・子ども理解についての知識の必要性を理解する。 ② 生涯発達の視点から初期経験の重要性を理解する。 ③ 知・愛着関係・情動の発達を理解し、保育者の関わりの意味について考える。 ④ 社会性・仲間づくりの発達という視点から遊びの意義を理解する。 ⑤ 子どもの発達に関する知識が保育にもたらす意義を考えることができる。</p>
教科書・参考書	<p>『新時代の保育双書 実践・発達心理学』 青木 紀久代編 (株)みらい</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。オムニバス授業であることに留意し、随時担当教員に確認してください。</p>
備考・メッセージ	<p>「名前を呼ばれて返事ができるのはどうして？」など、人に関心を持ち、人の持つ能力や個性がどのような過程で発達（変化）するのか、身近なことを意識しておきましょう。</p>